



運動器疾患において患者様本位の医療、良質で丁寧な医療、科学的に根拠のある医療、信頼され満足される医療の提供を、電子カルテシステムQualis（クオリス）が応援しています。

整形外科

●はっとり整形外科リウマチ科クリニック （東京都杉並区）



「はっとり整形外科リウマチ科クリニック」は、西武新宿線上井草駅北口より徒歩30秒の住宅地にあります。長年骨軟部腫瘍、関節リウマチなどの難治性整形外科疾患、肢体不自由児を中心とした小児整形外科診療、外傷、スポーツ外傷／障害、脊椎疾患、関節疾患、骨粗鬆症など幅広い運動器疾患の診療に携わってこられた服部宏行院長が2019年2月に開院し、多くの患者様から厚い信頼を得ています。「運動器疾患の診断は様々な検査によって得られるデータと医師のこれまでに培った知識、技術を駆使した所見から総合的に行います。治療には多くの選択肢がありますが、患者様とよく相談しクリニックだからといって保存加療だけに固執せず、必要であれば手術加療についても説明し、適切な施設をご紹介するようにしています」（院長）

そのような診療方針のもと、同クリニックの診療を支えているのが開院と同時に導入したBMLの電子カルテシステムQualis（クオリス）です。「開業前に3-4社の電子カルテを見ましたが、最もカスタマイズが豊富に行え、画面が見やすいところが決め手となりました。実際に使い始めてからはサポート体制にも満足しています。サポートセンターの職員のクオリティが高く、困った時にはすぐ相談し解決してもらえるので安心できます。診察には『お気に入りセル』機能を活用しています。必要な診療内容を疾患別、診療パターン別に作成し、セットにして並べておけるため、オーダはほぼお気に入りセルからの入力です。診療報酬には詳しくありませんが、検索すると簡単に調べられるところも便利です」（院長）

進む医療のDX化に対応するためオンライン資格確認、電子処方箋のシステムを早々に導入している同クリニック。「今後全ての医療機関、薬局に電子処方箋の導入が進み、正確な重複投薬チェックにより無駄な処方が削減できたり、薬局からの疑義照会が減ることを期待しています」と将来のビジョンを見据えた同クリニックを力強く応援するのがBMLの電子カルテシステムQualis（クオリス）です。

『文藝春秋』2024年3月号